

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2012年第15号(週報・月報合併号)

2012年第15週(4月9日~4月15日)、月報3月

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

— インフルエンザ : すべての保健所管内で注意報レベル基準値を下回る。 —

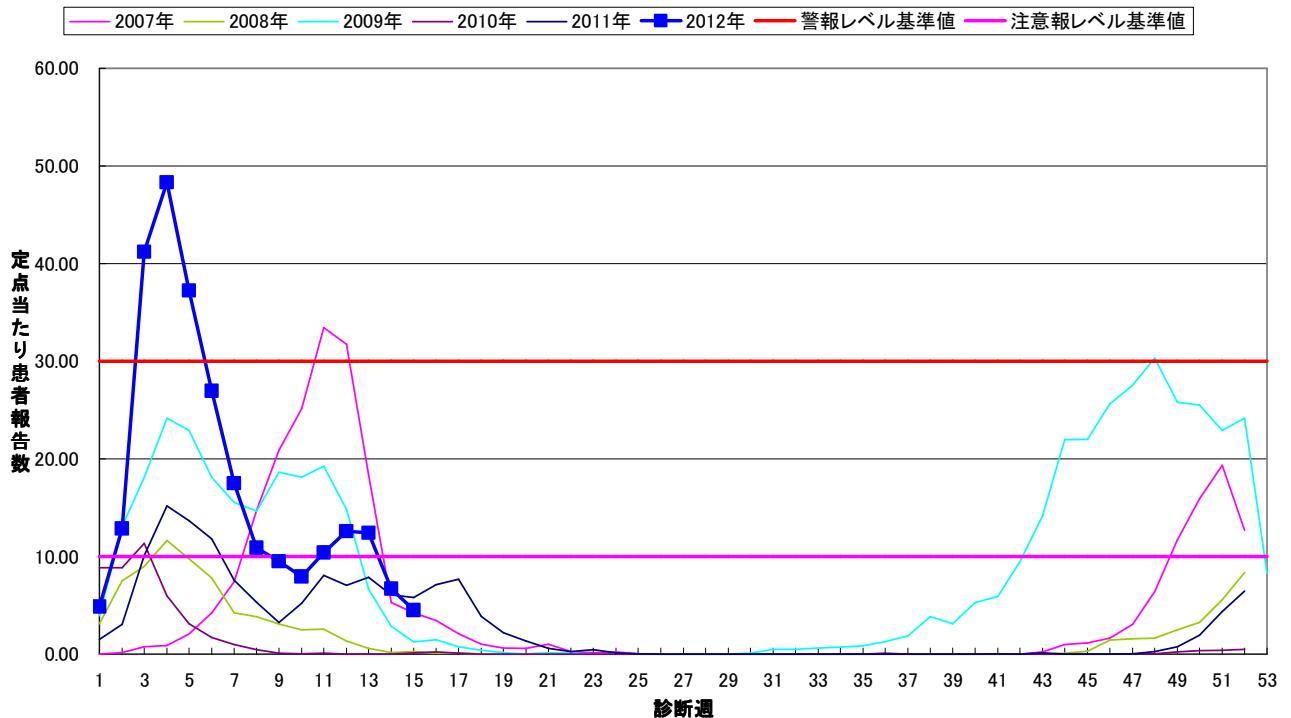
県全体の定点当たり患者報告数は4.52人(前週:6.70人)と3週連続で減少しました。前週、注意報レベル基準値を超えていた岩出、田辺保健所管内も基準値を下回り、これですべての保健所管内で注意報レベル基準値を下回りました。

しかし、若干ですがまだ学級閉鎖等の措置がとられている学校もあるため、もうしばらく散発的な発生が見られる可能性があります。

2011/2012シーズンは、前半はAH3亜型が原因となったインフルエンザが全国的に大流行しましたが、2012年第9週(2/27-3/4)~第13週(3/26-4/1)の全国の分離・検出数はAH3亜型224件、B型313件でB型の報告が多くなっています。

感染を予防するために、うがい・手洗いの励行や、マスクの着用等による咳エチケットを心がけてください。また、バランスのよい食事、十分な睡眠をとる等、普段から健康管理に努めることも大切です。

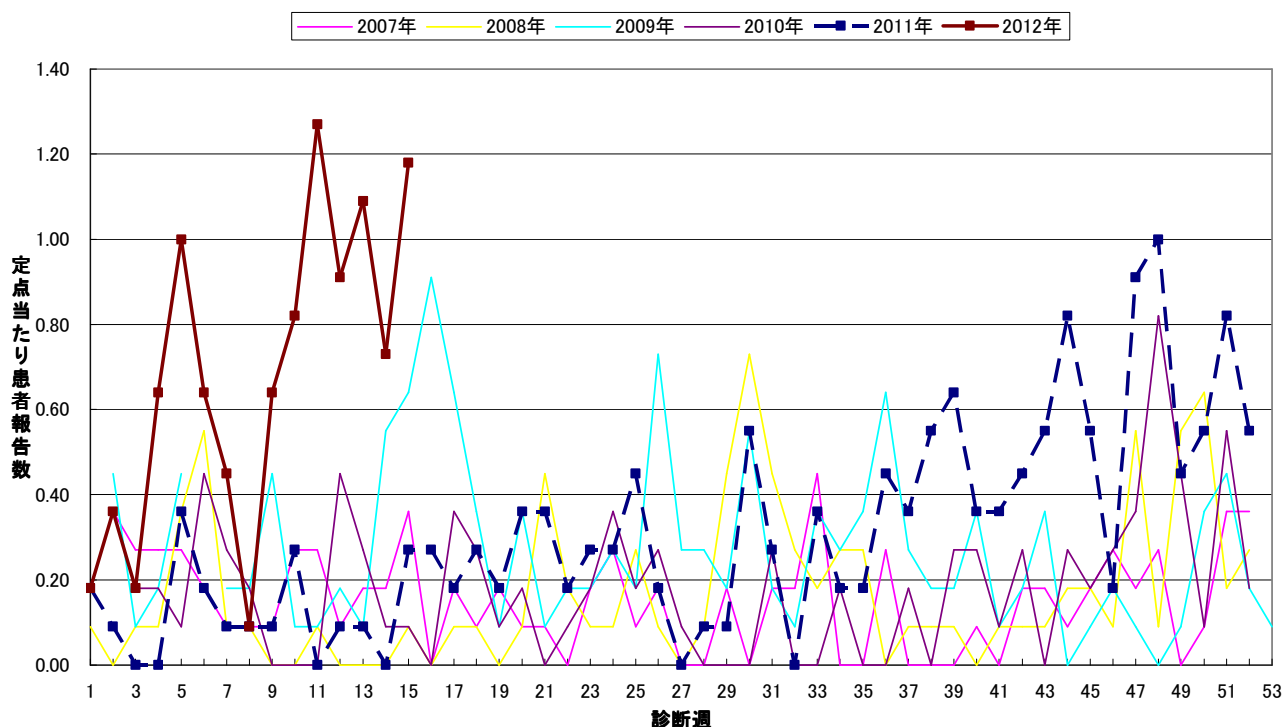
インフルエンザ(和歌山県全体)



－ **マイコプラズマ肺炎** ： **患者報告数は非常に多い** －

県全体の定点当たり患者報告数は1.18人（前週：0.73人）と、過去5年間と比較して非常に高い水準となっています。全国的にも患者報告数は多くなっており、この傾向は昨年後半から継続しています。感染予防策としては、インフルエンザと同様でうがい・手洗いの励行や普段からの健康管理が大切です。

マイコプラズマ肺炎(和歌山県全体)



－ **その他の感染症** －

(水痘)

湯浅保健所管内では4週前から患者報告数が多い傾向となっていました。今週は4.33人（前週：3.67人）と注意報レベル基準値を超えました。県全体の報告数は、1.26人（前週：1.26人）と例年と比較して同程度です。

○ 定点把握感染症の警報・注意報レベル基準値について

疾病	警報レベル		注意報レベル	疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値		開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30	10	10	伝染性紅斑	2	1	-
咽頭結膜熱	3	1	-	百日咳	1	0.1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	ヘルパンギーナ	6	2	-
感染性胃腸炎	20	12	-	流行性耳下腺炎	6	2	3
水痘	7	4	4	急性出血性結膜炎	1	0.1	-
手足口病	5	2	-	流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。注意報の「-」は対象としないことを意味します。

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

- 1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。
 - 1類感染症：報告はありませんでした。
 - 2類感染症：結核 4名
 - 3類感染症：報告はありませんでした。
 - 4類感染症：報告はありませんでした。
 - 5類感染症：梅毒 1名

- 2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	104
細菌性赤痢	1
A型肝炎	1
つつが虫病	3
アメーバ赤痢	1
後天性免疫不全症候群	4
梅毒	3

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

急性出血性結膜炎（田辺保健所管内）

注意報レベル

水痘（湯浅保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	226	1	2	8	16	14	18	13	17	27	13	13	36	9	12	11	4	7	3	2	-
	定当	4.52	0.02	0.04	0.16	0.32	0.28	0.36	0.26	0.34	0.54	0.26	0.26	0.72	0.18	0.24	0.22	0.08	0.14	0.06	0.04	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	11	2	2	4	1	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.35	0.06	0.06	0.13	0.03	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	2	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	0.03	-	-	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	19	-	-	-	3	3	1	1	1	4	4	-	1	-	1
	定当	0.61	-	-	-	0.1	0.1	0.03	0.03	0.03	0.13	0.13	-	0.03	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	192	3	17	42	34	29	16	14	9	4	3	10	10	-	1
	定当	6.19	0.1	0.55	1.35	1.1	0.94	0.52	0.45	0.29	0.13	0.1	0.32	0.32	-	0.03
水痘	報告	39	3	2	3	10	6	5	3	1	1	4	-	1	-	-
	定当	1.26	0.1	0.06	0.1	0.32	0.19	0.16	0.1	0.03	0.03	0.13	-	0.03	-	-
手足口病	報告	2	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	0.03	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	7	-	-	1	1	-	1	3	-	-	1	-	-	-	-
	定当	0.23	-	-	0.03	0.03	-	0.03	0.1	-	-	0.03	-	-	-	-
突発性発しん	報告	12	-	7	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.39	-	0.23	0.13	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	-
	定当	0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	-	-	0.06	-	-

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

	和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	81	9	46	14	10	5	56	4	1
	5.4	3	7.67	2.33	2	1.67	8	1.33	0.5
RSウイルス感染症	2	1	2	-	-	1	5	-	-
	0.22	0.5	0.5	-	-	0.5	1.25	-	-
咽頭結膜熱	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	-	-	0.25	-	-	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	-	2	1	1	1	9	2	-
	0.33	-	0.5	0.25	0.33	0.5	2.25	1	-
感染性胃腸炎	61	23	35	20	21	6	13	13	-
	6.78	11.5	8.75	5	7	3	3.25	6.5	-
水痘	14	4	-	1	13	2	5	-	-
	1.56	2	-	0.25	4.33	1	1.25	-	-
手足口病	1	1	-	-	-	-	-	-	-
	0.11	0.5	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	1	-	3	-	-	-	3	-	-
	0.11	-	0.75	-	-	-	0.75	-	-
突発性発しん	4	-	3	-	3	-	2	-	-
	0.44	-	0.75	-	1	-	0.5	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	1	-
	-	-	-	-	-	-	-	0.5	-
流行性耳下腺炎	1	-	2	-	-	-	-	-	-
	0.11	-	0.5	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	1	…	…	…	…	…	1	…	…
	0.33	…	…	…	…	…	1	…	…
流行性角結膜炎	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	-	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	1	…	3	1	-	5	2	1	…
	0.33	…	3	0.5	-	5	1	1	…
クラミジア肺炎	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

3月の定点当たり患者報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が3.00人(2月:2.36人)と最も多くなっています。患者報告数が最も多い年齢階級層は、70歳以上で全体の7割強を占めています。その他の感染症は、毎月0～数名と和歌山県では特に多くはありません。

【3月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	33	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	1	2	1	24
	定当	3	0.09	-	-	-	-	0.09	-	-	0.09	-	0.09	0.09	0.09	0.18	0.09	2.18
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09
薬剤耐性アシネトバクター感染症	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2012年第15号

発行日：平成24年4月19日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局健康推進課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2657

E-mail e0412003@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。